

その後の新川(宮地小前)

3月4日の宮地小環境学習会のあと、水質検査、掃除、ビオトープ化(イグサ植栽、ホタルの寝床づくり)などいろいろな方のご協力をいただきながら子供たちの夢である「ホタルの飛ぶ日」をめざして作業も着々と進んでいます。その様子を少しだけ紹介しましょう。

[4月5日] 水質検査・掃除

宮地小の入学式の前にカキ殻をきれいにしておこうということで水質検査を兼ねて掃除をしました。川岸の桜が満開で掃除より花見をしたくなるような気分でした。来年はみんなで花見をしましょう。

とにかくゴミがたくさんあって驚きました。そこで宮地小の子供たちに「ゴミを捨てないで!」というチラシを書いてもらって一緒に配ろうということになりました。

水質検査の結果は上流側も下流側も COD 6 とほとんど変化なしでがっかりでした。

なお、始業式の前日の7日にもう一度掃除しました。



[4月12日] イグサ植栽(土手作り)

宮地小の子供たちや先生方のホタルに対する思いに伝えるため川岸にホタルが上れるように土の土手を作ることにしました。また、先の水質検査の結果からカキ殻だけの浄化作用では足りないのではないかと、顧問の森田先生の案でイグサを植えることにしました。

今回は松浦さんの友人の金橋商会さんが土や砂利を無料で提供してくださり、さらには今回の作業が女性陣だけだったということもあり土の積載にもご協力くださいました。ありがとうございました。

イグサは今田さんが提供してくれました。右の写真は4月19日のものですが、部分がイグサを植えている場所です。岸から30cmあけてカキ殻で護岸を設置し、その30cmの空白に大き目の石ころ・土・砂を入れ、その土の部分にイグサを植えています。

なんとこの日はCODが3になっていました。ようやくカキ殻の浄化効果が現れてきたようです。



[4月19日] ホタルの寝床づくり

この日も金橋商会さんから石ころを軽トラ2台分いただいて会員4人で新川に投与していた所、バトミントン部の子供達が近寄ってきて「何しているんですか？」と尋ねてきたので、「うん、ホタルが飛ぶ工夫をしているんだよ」とこたえると自然とお手伝いする子が1人、2人と増え、最後には全員が手伝ってくれました。

とっても感激しました。

また、その場面を見て、通りすがりの方がデジカメで写真を撮ってくださいました。



我が会のたのもしいサポーターの紹介

いままで我が会にボランティアで気持ちよい支援を下さっている方々をご紹介します。いつもありがとうございます。

- 市長・・・・・・・・カキ殻拾いおよび我が会の宣伝
- 上野町の白石先生・・・お手伝い・地区への呼び掛け
- 吉村先生・・・・・・・・お弁当・しずくちゃんの衣装作り
- 藤井社長と中村ポリエチレン・・・カキ殻ネットを卸値で提供
- 金橋商会・・・・・・・・土や砂利の無料提供
- 市環境課・・・・・・・・カキ殻運搬や水生生物調査
- 清藤康也さん・・・・・・会の定款を無料で添削
- むたゆうじさん・・・・テーマソング作曲

会員紹介のコーナー

20名程度の会員からなる我が会もなかなか全員が揃うことが少なく、まだまだお互いに顔を知らない会員もいることと思いますので、このあたりで会員の紹介を連載したいと思います。まずは、一番若くこれからの会のホープである高専生の今田さんからご紹介しましょう。

私は、八代高専専攻科の学生です。

昨年5月より「次世代のためにがんばる会」の活動に参加し、水質検査を行っています。分析する水をとるとき毎回思うことがあります。それは、水を浄化するために投入してあるカキ殻に多くのゴミが付着していることです。それまで、自分自身環境問題に関心がありましたが、それは頭で考えるだけで・・・それを目の当たりにした今、環境問題は1人1人が取り組むべき問題であると改めて気づきました。この会の名のように次世代のために、自分の未来のために活動を頑張っていきたいです。

